

保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C Dの4段階評価です。該当する欄に○を付けてください

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 松江認定こども園 】

自己評価の観点	前年度 の評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している	D	C
評価の根拠 会の経営理念や園の保育指針、保育目標を職員で認識しあつたうえで、課題を明確に共有したため 今後の改善・充実 課題に真摯に取り組み、保護者、地域、社会からの信頼の回復に努める		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	C
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	B	B
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	B	B
④ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	B	B
⑤ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	B	B
⑥ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	B	B
⑦ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	C	C
⑧ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	C	B
⑨ 保育についての話し合いをよくしている	D	C
⑩ 保育士自身が楽しんで保育をしている	D	C
⑪ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	C	C
評価の根拠 市の指導により、指導計画の提出を改善したり、保育についての話し合いを増やしたりして、保育の充実を図るようにしたため 今後の改善・充実 保育士自身が明るく前向きに保育に取り組めるよう、人的環境を含め環境の改善や行事の見直しを図る		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	B	B
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	B	B
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	B	B
評価の根拠 新型コロナウイルス感染症対策により、日々一人ひとりの体調に気をつけて、換気、消毒等に配慮しているため 今後の改善・充実 日々健康観察記録表のやり方を通して、保護者の方と細やかに園児の健康状態についてやりとりをしてきたが、今後コドモンでも細やかな連携を心がけていきたい		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	D	D
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	D	C
評価の根拠 新型コロナウイルス感染症や園児死亡事故の関係で行事の中止が多く実施回数は極端に減ったが、各行事のねらいを立てて共通認識するようになったため 今後の改善・充実 それぞれの行事のねらいを計画や実施に活かせるよう意識して取り組んでいく		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	B	B
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	B	B
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	C	C
評価の根拠 管理栄養士が精力的に食育に取り組み、食べる意欲や食への興味関心に繋がるよう子どもたちや職員に働きかけているため 今後の改善・充実 食育や行事について安全を確保したうえで、子どもたちにとって必要な経験だと思われるものについては前向きに取り組むよう努める		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	D	D
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	D	D
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	C	C
評価の根拠 それぞれの職員の役割や責任に対する意識が非常に低いため、会議の進め方もまだまだ検討が必要だと思われるため 今後の改善・充実 それぞれの職員の意識を高めるためには、何が必要か、どう働きかけていけば効果的か園長、主任、主幹がそれぞれの立場を再認識し改善していく必要があると考える		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じている	C	B
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	B	D
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	B	D
④ 廊下に落ちていたものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	B	B
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	B	B
評価の根拠 避難訓練についての適切な実施状況では無かったことを、今年度市より指摘を受けたため		
今後の改善・充実 避難訓練の適切な実施のために、やり方を見直し体制を整えるようにした		
8. 研修・研究について		
① 実践研究に取り組み、日常の保育に生かし、子どもの育ちに反映させている	C	C
② 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	C	C
③ 研修報告を園内で実施している	C	B
評価の根拠 研修報告については毎月の職員会議で取り上げ、共通理解に繋げているため		
今後の改善・充実 実践研究の取り組みに関しては、まず職員の意欲の向上や意識の改革が優先事項ではないかと考え、事故後の対策の一つひとつを確実に進めていきたい		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	B	B
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	B	B
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	B	C
評価の根拠 各表簿の作成については、適切な時間内では作成・処理が難しい現状もあるため		
今後の改善・充実 全職員がコドモンの扱いに慣れ、適切な時間内で作成・処理が可能になるよう取り組んでいきたい		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	B	C
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	C	B
評価の根拠 安全点検に関しては、担当者によりきちんと実施ができていなかった点を、市より指導を受けたため		
今後の改善・充実 安全点検への意識を高めるために書式を見直し、体制を整えるようにした。更に職員の意識の向上を目指していきたい		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	B	B
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	C
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	B	C
評価の根拠 新型コロナ感染症対策のため参観の機会は減ったが、子どもの様子については細目に様子を伝えるようにしているため		
今後の改善・充実 コロナ渦の中、できる形での保護者支援のやり方を検討していきたいと考えている		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	A	D
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	C	C
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	C	B
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	B	B
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 コロナ渦の中、地域に向けた支援の充実は難しかったため		
今後の改善・充実 コロナ渦の中、開かれた保育所づくりとは何か、今何ができるのか検討していきたい		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	B	B
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	D	D
評価の根拠 地域や小学校等に対して行事や子育て支援等を周知する体制が、地域的に整えられていないため		
今後の改善・充実 地域や小学校等に向け、情報発信をする体制作りができるよう、可能な限り働きかけていきたい		